

平成 27 年 11 月 25 日

自治会長様

北栄町健康推進課長 伊垢離順紅

自治会公民館における禁煙の推進について（お願い）

町の健康づくり活動につきましてはご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、本町では健康ほくえい計画に基づき健康づくりを推進しているところですが、自治会公民館等における禁煙に取り組んでおり、47 自治会（75%）が実施済みです。

これまでも自治会公民館等の全面禁煙（建物内禁煙）をお願いしてきたところですが、現時点で貴公民館の実施済との情報を得ていない状況です。

つきましては、年末年始に開催されます自治会総会等で、建物内禁煙について協議し、ぜひとも実施していただきますようよろしくお願いいたします。

なお、既に建物内禁煙を実施しておられましたら、お手数ですが健康推進課にお知らせいただきますようお願いいたします。

■ 健康増進法（平成 14 年法律第 103 号）

第 25 条 学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、（中略）その他の多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙（中略）を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

■ 厚生労働省健康局長通知（平成 22 年 2 月 25 日、健発 0225 第 2 号）

4 受動喫煙防止措置の具体的方法

(1) 施設・区域における受動喫煙防止対策

全面禁煙は、受動喫煙対策として極めて有効であると考えられているため、受動喫煙防止対策の基本的な方向性として、多数の者が利用する公共的な空間については、原則として全面禁煙であるべきである。（以下略）

(2) 全面禁煙が極めて困難である施設・区域における受動喫煙防止対策

全面禁煙が極めて困難である場合には、施設管理者に対して、当面の間、喫煙可能区域を設定する等の受動喫煙防止対策を求めることとし、将来的には全面禁煙を目指すことを求める。（以下略）

■ 健康ほくえい計画（平成 24 年 3 月策定）

(5) 生活習慣病の予防 — 地域で生活習慣病の予防に取り組む — 自治会公民館の禁煙…

裏面もご覧ください。

■ 受動喫煙を防ぎましょう ■

喫煙は喫煙者本人だけでなく、家族や周囲の人の健康にも影響を及ぼします。
たばこの煙には約 200 種類以上の有害物質が含まれています。

喫煙者本人が吸う煙を「主流煙」、たばこの先端から立ち上る煙を「副流煙」といいます。

そして、自分自身が喫煙しなくても、喫煙者と同じ空間にいることで副流煙を吸いこんでしまう人のことを「受動喫煙者」といいます。

分煙場所として公民館の入口を喫煙場所にするのは、受動喫煙防止の効果がありません。入口は、公民館に来た人が必ず通る場所のうえ、煙が屋内に入りやすい場所でもあります。分煙場所は入口や窓から遠く離れた場所が望ましいでしょう。

公民館は公共の施設です。みなさんが気持ち良く使えるように引き続き禁煙にご協力ください。

公民館等を健康づくり応援施設にしませんか？

鳥取県では、県民の健康づくりを支援するため、運動・食事・禁煙に取り組む施設又は店舗を「健康づくり応援施設」として認定しています。

申請し、県に認定されるとステッカーが配布されます。

本町では中央団地、大島の 2 つの自治会が禁煙応援施設に認定されました。

自治会のみなさんが禁煙による健康づくりにとりくみませんか？

申請をご希望の自治会は健康推進課までご連絡ください。(電話 37-5867)

■ 健康づくり応援施設ステッカー ■

